



道路インフラの老朽化対策に向けた取組み



—今年で4年目—
青森県道路メンテナンス会議

今年度第1回目の会議を開催

「青森県道路メンテナンス会議」は、社会的課題である道路インフラの老朽化対策について、道路管理者が連携して定期点検や長寿命化の促進と技術力向上、情報提供を図るなどの取組みを行うため平成26年度に設立され、今年で4年目を迎えます。

この度、点検状況及び計画、メンテナンスに関する取組み等について情報共有を図るため、今年度第1回目の「青森県道路メンテナンス会議」が7月26日、青森市役所柳川庁舎で開催され、青森県内の道路管理担当者など約80名が出席しました。

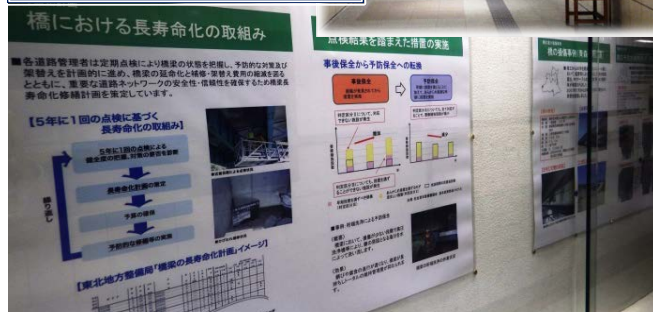


会長 佐近青森河川国道事務所長の挨拶

今回の会議では、規約改正、平成28年度に行われた点検結果の報告と、平成29年度の点検計画、点検結果をふまえた要修繕施設のストック状況、今年度から実施する舗装等の新たな点検、メンテナンスに関する取組事例などの情報共有を行い、出席した市町村等が抱える課題などについて、活発な意見交換を実施しました。

また、今年度の同会議の取組み計画として、自治体を対象とした現地研修や、高校生対象の現場見学会、老朽化対策のパネル展等の実施状況(写真左)や今後の予定について、情報を提供しました。

地下歩道展示スペースから
事業の魅せる化を展開!
『道路施設の老朽化対策』
のパネルを展示



H29年度 パネル展示(国道7号 青森市 長島地下歩道)
※5月上旬～6月末まで実施済